【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2016-106635(P2016-106635A)
【公開日】平成28年6月20日(2016.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2016-037
【出願番号】特願2016-27829(P2016-27829)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｍ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｍ　1/00　C

【手続補正書】
【提出日】平成29年2月2日(2017.2.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
底部と側壁とを有する細胞培養容器であって、
底部に、細胞を収容するための複数のマイクロウェルが配置されてなる細胞収容部を有し、
前記複数のマイクロウェルの近傍に、識別子がマイクロウェルごとに対になって付されており、但し、識別子が付されていないマイクロウェルが存在してもよく、
前記複数のマイクロウェルの近傍に識別子が付されている場合、識別子とその対となるマイクロウェルとの距離又は角度が、識別子とマイクロウェルの対ごとに異なる、
細胞培養容器。
【請求項２】
上面視において、識別子の面積が、マイクロウェルの開口部の面積より小さい、請求項１記載の細胞培養容器。
【請求項３】
識別子がドット状または線状の形状を有する、請求項１または２記載の細胞培養容器。
【請求項４】
重心が同一軸上にある複数のマイクロウェルに対になって付される複数の識別子が、同一軸上に配置される、請求項１～３のいずれか１項記載の細胞培養容器。
【請求項５】
識別子がいずれも、マイクロウェルの中心に対し、右側のみ、左側のみ、上側のみ、または下側のみに付されている、請求項１～４のいずれか１項記載の細胞培養容器。
【請求項６】
細胞培養容器の方向を特定するための第２識別子をさらに有し、上面視において、第２識別子の面積がマイクロウェルの開口部の面積より大きく目視で確認可能である、請求項１～５のいずれか１項記載の細胞培養容器。
【請求項７】
複数の識別子が対になって付されたマイクロウェルが存在する、請求項１～６のいずれか１項に記載の細胞培養容器。
【請求項８】
マイクロウェルに対になって付された複数の識別子の形状が異なる、請求項７に記載の

細胞培養容器。
【請求項９】
識別子が付されていないマイクロウェルが存在する、請求項１～８のいずれか１項に記載の細胞培養容器。
【請求項１０】
マイクロウェルの近傍が複数の領域に区分けされており、各領域における識別子の有無が、識別子とマイクロウェルの対ごとに異なる、請求項１～９のいずれか１項に記載の細胞培養容器。
【請求項１１】
識別子とその対となるマイクロウェルとの角度が、上面視において細胞培養容器の底部に一本の直線Ｘを引いた場合に、当該直線Ｘに平行な直線と、マイクロウェルの重心と識別子の重心とを通る直線Ｙとがなす角度αで表される、請求項１～１０のいずれか１項に記載の細胞培養容器。